

がん化学療法（全般） 服薬情報提供書（トレーシングレポート）兼 情報提供依頼書

担当医 科 先生	保険薬局 名称・所在地
患者ID :	電話番号 :
患者名 :	FAX番号 :
	担当薬剤師名 :

印

この情報を伝えることに対して患者の同意を

- 得ました。 得ていないが、治療上重要だと思われるので報告いたします。

聞き取り日 : 年 月 日	<input type="checkbox"/> 投薬時	<input type="checkbox"/> その他
対応者 : <input type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> 家族 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 患者からの問い合わせ	()
レジメン (抗がん剤) :	<input type="checkbox"/> テレフォンフォローアップ時	

【服薬状況】 継続服用できている しばしば服用できないことがある 休薬中

理由 飲み忘れ 用法・用量の理解不足 その他 ()

副作用の発現 ()

【副作用の評価】

・ 感染症症状 (発熱・のどの痛み・排尿時の痛み等)	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり	※ の症状が「あり」の場合 は、電話での速やかな連 絡をお願いします。
・ 間質性肺炎 (呼吸困難・息切れ・空咳等)	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり	
・ 心機能障害 (脈の乱れ・めまい・動悸・意識消失等)	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり	
・ 腎・肝機能 (直近での急激な悪化)	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり (腎・肝)	
・ 出血傾向 (消化管出血・血尿・咯血等)	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり	

【注意】 緊急性のある場合は医師へ連絡、又は患者より医師に連絡する様にしてください。
疑義照会、処方提案は医師に直接行ってください。
Grade2以上の症状 (緊急性がなく次回の診察への情報提供) について記載をお願いします。

医師に連絡 患者より連絡

★Grade評価はCTCAE Ver5.0に基づいて行っています。

主な症状	Grade2	Grade3 (※症状の詳細を下記に記載)
口腔粘膜炎	経口摂取に支障がない中等度の疼痛または潰瘍; 食事の変更を要する	高度の疼痛; 経口摂取に支障がある
下痢	ベースラインと比べて4-6回/日の排便回数増加; ベースラインと比べて人工肛門からの排泄量の中等度増加; 身の回り以外の日常生活動作の制限	ベースラインと比べて7回以上/日の排便回数増加; 入院を要すべて人工肛門からの排泄量の高度増加; 身の回りの日常生活動作の制限
便秘	緩下薬または浣腸の定期的使用を要する持続的状況; 身の回り以外の日常生活動作の制限	排便を要する頑固な便秘; 身の回りの日常生活動作の制限
悪心	顕著な体重減少, 脱水または栄養失調を伴わない経口摂取量の減少	カロリーや水分の経口摂取が不十分; 経管栄養/TPN/入院を要する
嘔吐	外来での静脈内輸液を要する; 内科的治療を要する	経管栄養/TPN/入院を要する
食欲不振	顕著な体重減少や栄養失調を伴わない摂食量の変化; 経口栄養剤による補充を要する	顕著な体重減少または栄養失調を伴う (例: カロリーや水分の経口摂取が不十分); 静脈内輸液/経管栄養/TPN を要する
末梢神経障害	中等度の症状; 身の回り以外の日常生活動作の制限	高度の症状; 身の回り以外の日常生活動作の制限
倦怠感	身の回り以外の日常生活動作を制限するだるさがある, または元気がない状態	身の回りの日常生活動作を制限するだるさがある, または元気がない状態
疲労	休息によって軽快しない疲労; 身の回り以外の日常生活動作の制限	休息によって軽快しない疲労で, 身の回りの日常生活動作の制限を要する
体重減少	ベースラインより10-20%減少; 栄養補給を要する	ベースラインより20%以上減少; 経管栄養またはTPNを要する
浮腫	四肢間の差が最も大きく見える部分で, 体積または周長の差が> 10-30%; 腫脹または四肢の解剖学的構造が不明瞭になっていることが診察で容易にわかる; 皮膚の皺の消失; 解剖学的な輪郭の異常が容易にわかる; 身の回り以外の日常生活動作の制限	四肢間の体積の差が> 30%; 解剖学的な輪郭の異常が著明である; 身の回りの日常生活動作の制限
高血圧 (血圧上昇)	ベースラインが正常範囲の場合は収縮期血圧140-159 mmHgまたは拡張期血圧90-99mmHg; ベースラインで行っていた内科的治療の変更を要する; 再発性または持続性 (≥24時間); 症状を伴う> 20mmHg (拡張期血圧) の上昇または以前正常であった場合は> 140/90mmHgへの上昇; 単剤の薬物治療を要する;	収縮期血圧≥ 160mmHgまたは拡張期血圧≥100 mmHg; 内科的治療を要する; 2種類以上の薬物治療または以前よりも強い治療を要する;
手足症候群 (HFS)	疼痛を伴う皮膚の変化 (例: 角層剥離, 水疱, 出血, 亀裂, 浮腫, 角質増殖症); 身の回り以外の日常生活動作の制限	疼痛を伴う高度の皮離, 水疱, 出血, 亀裂, 水疱, 出血, 亀裂, 身の回りの日常生活動作の制限
ざそう様皮疹	体表面積の10-30%を占める紅色丘疹および/または膿疱; 社会心理学的な影響を伴う; 身の回り以外の日常生活動作の制限	体表面積の> 30%を占める紅色丘疹および/または膿疱で; 身の回りの日常生活動作の制限; 経口抗菌薬を要する局所の重複感染
皮膚乾燥・そう痒感	体表面積の10-30%を占め, 紅斑またはそう痒を伴う; 身の回り以外の日常生活動作の制限	体表面積の> 30%を占め, そう痒を伴う; 身の回りの日常生活動作の制限
爪周炎	局所的治療を要する; 内服治療を要する; 疼痛を伴う爪襞の浮腫や紅斑; 滲出液や爪の分離を伴う; 身の回り以外の日常生活動作の制限	外科的処置を要する; 抗菌薬の静脈内投与を要する; 身の回りの日常生活動作の制限

症状の詳細・その他の症状:

「有害事象共通用語規準 v5.0日本語訳JCOG版」一部改変

★その他 その他の情報提供 (次回診察への情報提供) 情報提供依頼 (がん化学療法レジメン内容の情報提供依頼等)

返信欄 (センター記載欄)

報告内容を確認し、処方医へ報告しました。
 その他

大阪国際がんセンター 薬局



<注意> FAXによる情報伝達・情報提供は疑義照会ではありません。
疑義照会は通常通り電話にて照会ください。 電話: 06-6945-1181 (代表) 平日9:00~17:30
がん化学療法以外の情報提供は従来通り、FAX 06-6945-1199に送信してください。

薬剤師